

1. 趣旨

- 東海道・日光街道・奥州街道・中山道・甲州街道の5つの旧街道(総延長距離 1,442km)を踏破することにより、知的好奇心と冒険心を満たしつつ、体力の維持と向上を図り、併せて参加者同士の連帯感を高める。

2. 活動内容

- 平成19年1月、「東海道を歩く会」(幹事：金子幹雄・大西 勲)として発足。3月14日に日本橋を総勢39名(女性11名)で出立。平成21年7月に全行程を踏破したので、発展的に「五街道を歩く会」と改称した。なお、旧東海道踏破の記録として、平成21年12月に『鎌倉淡青会 旧東海道を歩く会の記録』が刊行されている。
- 「日光街道を歩く会」は、平成21年10月にスタートし、翌22年7月に日光東照宮に到着した。
- 「奥州街道を歩く会」は、ゴールを仙台として平成22年10月からスタートしたが、白河まで踏破したところで東日本大震災により中止のやむなきに至った。
- 「中山道を歩く会」は、平成23年6月からスタートした。同24年10月に下諏訪に至り「前期コース」を終了し、11月より「後期コース」が始まり、現在、木曾路を歩いている。「中山道を歩く会」は来年9月に草津での打ち上げを予定し、次いで五街道最後の「甲州街道を歩く会」がスタートする。
- 東海道以来、現在までの全コースの皆勤者は、長谷川信夫・神戸 潔の2名である。なお、催行日に不参加の場合も、多くの会員は、後日そのコースを歩いて埋め合わせをしている。
- 催行は、毎月第2水曜日の日帰り、または第2水曜日の前日の火曜日出発1泊2日を原則とする(2泊3日の場合もある)。
- 訪問先で各地の東大同窓会組織との交流を行っており、関西東大会・栃木銀杏会・埼玉銀杏会・群馬銀杏会などと交流をした。
- 本会の活動状況については、安藤義信会員のホームページ
<http://homepage2.nifty.com/kozu5/tabi.htm> で見る事が出来る。

3. 活動実績

「東海道を歩く会」 期間2年5ヶ月 21区間 宿泊15泊 延べ36日 (495km)

回	日付	区間	日数	区間距離(km)	参加人数	世話人
平成19年(2007年)						
1	3.14	日本橋→増上寺→泉岳寺→品川駅	1	10.0	39	金子・大西
2	4.11	品川駅→品川宿→六郷の渡し→川崎宿→川崎駅	1	10.0	35	同上
3	5.9	川崎駅→生麦(ビール工場見学)→神奈川宿→横浜駅	1	13.0	36	同上
4	6.13	横浜駅→保土ヶ谷宿→戸塚宿→戸塚駅	1	13.0	39	同上
5	9.12	戸塚駅→戸塚宿→遊行寺→藤沢宿→辻堂駅	1	13.5	40	同上
6	10.10	辻堂駅→茅ヶ崎→平塚宿→大磯駅	1	17.0	39	同上
7	11.14	大磯駅→大磯宿→島崎藤村旧宅→城山公園→鴨宮駅	1	13.0	45	同上

8	12.11～ 12	①鴨宮駅→小田原宿→早雲寺→箱根奥湯本(泊) ②箱根奥湯本→畑宿→甘酒茶屋→箱根宿・箱根関所跡	2	15 8	39 44	同上
平成 20 年 (2008 年)						
9	4.9	箱根関所跡→山中城跡→三島大社→三島駅	1	16.2	38	岩田・安倍
10	5.13～14	①三島駅→三島宿→沼津宿→原宿→原駅 富士(泊) ②原駅→吉原宿→鯛屋旅館→富士駅	2	16 16	40	金子・大西
11	6.10～11	①富士→富士川→蒲原宿→由比宿→由比駅 清水(泊) ②由比駅→薩埵峠→興津宿→江尻宿→草薙駅	2	17 19	37 37	長島・蔵野
12	7.8～9	①草薙駅→駿府宿→丸子(鞠子)宿→バスで藤枝(泊) ②丸子宿→宇津の谷峠→岡部宿→藤枝宿→藤枝駅	2	13 16	39 39	蜂巢・高津
13	9.9～10	①藤枝駅→島田宿→大井川→金谷宿→金谷駅 藤枝(泊) ②金谷駅→中山峠→日坂宿→掛川宿→西掛川駅	2	14 17	37 36	神戸・金子
14	10.7～8	①西掛川駅→袋井宿→見付宿→磐田駅 磐田(泊) ②磐田駅→天竜川→浜松宿→浜松駅	2	17 14	38 37	井出・吉田
15	11.11～ 12	①浜松駅→舞阪宿→浜名湖→新居町駅 (浜松泊) ②新居町駅→新居宿→白須賀宿→二川宿→二川駅	2	17 16	40 38	岩谷・齊藤
16	12.9～10	①二川駅→吉田宿→兎足神社→小坂井駅 (豊橋泊) ②豊橋駅→小坂井駅→御油宿→赤坂宿→本宿駅	2	16 19	38 37	長谷川 ・小倉
平成 21 年 (2009 年)						
17	3.10～11	①本宿駅→藤川宿→岡崎宿 (岡崎泊) ②岡崎→知立(池鯉鮒)宿→富士松駅	2	20 19	42 41	谷口・坂本
18	4.7～8	①富士松駅→桶狭間古戦場跡→鳴海宿→熱田神宮→ 宮宿→神宮前駅 (名古屋泊) ②宮宿→七里の渡し→桑名宿→四日市宿→四日市駅	2	23 22	38 42	進・多田
19	5.12～14	①四日市→石薬師宿→加佐登駅 (四日市 2 泊) ②加佐登駅→庄野宿→亀山宿→関宿→関駅 ③関駅→関宿→坂下宿→鈴鹿峠→土山宿	3	14 16 15	40 40 40	池戸・倉藤
20	6.9～11	①土山宿→水口宿 (水口 2 泊) ②水口宿→天保義民の碑→石部宿 ③石部宿→真教寺→草津宿	3	16 18 13	39 39 37	瀧川・瀬戸
21	7.7～8	①草津宿→瀬田の唐橋→義仲寺→大津宿 (大津泊) ②大津宿→三井寺→南禅寺→三条大橋 (京都のホ テルで関西東大会との交流会、打上会)	2	15 13	42 44	田淵・立松

「日光街道を歩く会」

期間 10ヶ月 8区間 宿泊2泊 延べ11日 (143km)

平成 21 年 (2009 年)						
1	10.14	日本橋→浅草寺→千住宿→千住大橋→竹ノ塚駅	1	16.3	42	高津・池戸
2	11.11	竹ノ塚駅→草加宿→草加駅(悪天候のため午後中止)	1	5.0	37	大西・金子
3	12.8～9	①大袋駅→粕壁宿→東武動物公園駅(忘年会、幸手泊) ②東武動物公園駅→杉戸宿→幸手宿→栗橋宿→栗橋駅	2	18.0 16.8	37 35	高津・池戸
平成 22 年(2010 年)						
4	2.24	草加駅→越谷宿→大袋駅 (第2回の午後コース)	1	12.0	29	金子・高津
5	3.10	栗橋駅→中田宿→古河宿→野木宿→間々田駅	1	18.7	39	岩谷・小倉
6	4.14	間々田駅→小山宿→新田宿→小金井宿→自治医大駅	1	18.0	36	斎藤・沢田
7	5.12	自治医大駅→石橋宿→雀宮宿→宇都宮駅	1	19.6	38	谷口・池戸
8	6.8～9	①宇都宮駅→徳次郎宿・智賀都神社→石那田(宇都宮泊) ②石那田→大澤宿・杉並木→今市駅	2	16.6 13.2	41 40	吉田・井出

9	7.13	今市駅→鉢石宿→東照宮→日光駅 (宇都宮のホテルで栃木銀杏会との交流会、打上会) 翌日オプションで、日光の御用邸と東大附属植物園を見学	1	8.3	45	坂本・安倍
---	------	---	---	-----	----	-------

「奥州街道を歩く会」 期間 3 ヶ月 3 区間 宿泊 3 泊 延べ 6 日 (84km)

平成 22 年(2010 年)						
1	10.12~13	①宇都宮駅→白沢宿→勝山城址→氏家駅(那須塩原泊) ②氏家駅→氏家宿→喜連川宿→若林→バスで矢板駅	2	16.5 16.0	36 37	高津・池戸
2	11.9~10	①若林→佐久山宿→大田原宿→市野沢(那須塩原泊) ②市野沢→鍋掛宿→越堀宿→芦野→バスで那須塩原駅へ	2	17.0 17.0	37 35	渡水・山崎
3	12.7~8	①芦野宿→境の明神→白坂宿→白坂駅(新白河泊、忘年会) ②白坂駅→白河宿→太田川公民館→バスで新白河駅	2	15.7 14.8	42 41	蜂巢・田淵

「中山道を歩く会」前期(日本橋→下諏訪) 期間 1 年 5 ヶ月 13 区間 宿泊 3 泊 延べ 16 日 (223km)

平成 23 年(2011 年)						
1	6.8	日本橋→湯島聖堂→板橋宿→志村 3 丁目駅	1	16.1	46	立松・池戸
2	7.13	志村 3 丁目駅→蕨宿→浦和宿→さいたま新都心駅 (埼玉銀杏会と交流の昼食)	1	16.3	40	瀧川・瀬戸
3	9.14	さいたま新都心駅→氷川神社→大宮宿→上尾宿→桶川駅	1	15.3	43	渡水・谷田
4	10.12	桶川駅→桶川宿→鴻巣宿→吹上駅	1	15.7	38	谷口・飯野
5	11.9	吹上駅→熊谷宿→籠原駅	1	17.8	38	坂本・一原
6	12.14	籠原駅→深谷宿→本庄駅 (武州路踏破の打上会)	1	19.0	43	小倉・斎藤
平成 24 年 (2012 年)						
7	3.14	本庄駅→本庄宿→新町宿→倉賀野駅	1	16.4	44	高津・土田
8	4.11	倉賀野駅→倉賀野宿→高崎宿→達磨寺→群馬八幡駅 (群馬銀杏会と交流の昼食)	1	15.7	39	吉田・井出
9	5.8~9	群馬八幡駅→板鼻宿→安中宿→松井田駅	1	19.1	43	田淵・蜂巢
10	6.12~13	①松井田駅→松井田宿→坂本宿→碓氷峠登り口(軽井沢泊) ②碓氷峠登り口→峠の熊野神社→軽井沢宿→軽井沢駅	2	10.4 12.0	41 40	金子・松尾
11	7.11	軽井沢駅→沓掛宿→追分宿→御代田駅	1	18.2	45	多田・安倍
12	9.11~12	前日にオプションで、野辺山の国立天文台と臼田の JAXA 観測所を見学 動画 13 分 ①御代田駅→小田井宿→岩村田宿→塩名田宿→八幡 宿→布施温泉入口 (小諸泊) 動画 11 分半 ②布施温泉入口→望月宿→芦田宿→長久保宿→バスで上田駅	2	17.0 13.7	46 44	倉藤・鈴木
13	10.9~10	①上田駅→(バス)長久保宿→和田宿→男女倉口(観音 橋)(蓼科泊) ②男女倉口→和田古峠→諏訪宿→下諏訪駅	2	15.5 17.4	44 45	山崎・大西

「中山道を歩く会」後期(諏訪→草津) 期間 1 年 10 ヶ月(予定) 11 区間 宿泊 12 泊 延べ 23 日 (285km)

1	11.14	下諏訪駅→諏訪宿→塩尻峠→塩尻宿→塩尻駅	1	16.6	43	山崎・大西
平成 25 年(2013 年)						
2	4.9~10	①塩尻駅→洗馬宿→本山宿→日出塩尻 (塩尻泊) ②日出塩尻→贄川関所→贄川宿→奈良井宿→奈良井駅	2	11.0 12.9	44	一原・瀬戸



東海道：日本橋出発（左）
同：宮宿から桑名宿への七里の渡し(右)



東海道： 京都三条大橋到着（左）
日光街道：日光杉並木（右）



奥州街道：白河宿小峰城（左）
中山道： 碓氷峠（右）

***** ひとつと *****

❖ 「五街道を歩く会」発足の経緯 金子幹雄（S 39 工）、大西 勲（S 39 工）（記）

金子君と私は精密機械工学科同期卒業の間柄である。彼がワングルにいたことを知った天羽会長から歩く会を作るよう要請があった。2006年の12月に私と2人で幹事役を引き受け、まずは旧東海道を箱根まで月に1回、日帰りで歩く計画を立て、会員を募集した。家族も含めて39名の応募があり、2007年3月、日本橋を出発した。回を重ねるにつれて段々会員同士が仲良くなり、12月に箱根に着いて打上げ忘年会をやる時には、どうしても京都まで延長して歩きたいという意見が続出した。この後は1泊2日の行程が中心になるので、これまでの様に幹事だけで下見を続けるのは無理がある。京都までの詳細な行程計画を作り、区間毎に2人の世話人を決めて下見をして貰う制度にした。この制度のお蔭で会員の参画意識が高まり、また月に1回、1泊旅行をする形になったので会員同士が非常に親密になり、鎌倉淡青会の色々な活動の下地になったと自負している。旧東海道を歩き終わった後「五街道を歩く会」と改称し、池戸さんと高津さんに幹事をバトンタッチして、日光街道、奥州街道を歩き、今は中山道を歩いている。日本橋出発から6年経った現在、会員数は53名となり会員の意気は衰えを知らない。

❖ 中山道までの道のり

高津有二 (S 40 法) (記)、池戸誠二郎 (S 41 文)

東海道の次の日光街道は 10 ヶ月の短期間であり、比較的楽に東照宮まで到達した。宇都宮までが重複する奥州街道も引き続いて担当した。奥州街道は 2010 年 10 月に宇都宮をスタート、延べ 6 日間歩いて白河宿に達し、冬季の休みに入っている間に東日本大震災が発生した。さすがに被災地を歩く訳にはいかず、当初の予定を変更して 2011 年 6 月から中山道を歩くことにした。奥州街道は正式には奥州道中といい、江戸幕府道中奉行の直轄下は白河までであり、一つの区切りとなったのは幸いだった。

本年 4 月からはいよいよ中山道後半の木曾路に入り、2014 年 9 月には終点の草津に到着する予定である。ここまで来たら甲州街道も 2 人で幹事を務める決意をしている。参加者の平均年齢が 75 歳を越えた 50 人超の集団が五街道を踏破すれば、正にギネスものだと自負している。人生の終盤になって、かくも大きな達成感を味わえるなんて、歩く会のメンバー各位に満腔の敬意と感謝を申し上げたい。

❖ 歩くことの楽しさと生命

島岡 明 (S 16 法)

「會員短信」の欄にも書いたことだが、私の大學卒業はあの大戦争が始まったため、卒業が三ヶ月短縮され昭和十六年末であった。そして十七年の初めには高崎の歩兵十六聯隊に入隊した。六ヶ月初年兵教育を受け經理部の幹部候補生となったが、間もなく制度が變りそれまで非軍人だった軍の裁判官が軍人となったので直ぐ志願して陸軍の司法官となり、半年足らずで上海に司令部のあった第十三軍へ赴任した。私は歩兵出身だったからではないが當時から歩くのが頗る好きで、「會員短信」に記したとほり、本當によく歩き廻つたものだった。

戦後上海で軍を辭し民間人として歸國した後、辯護士となったが、それからずっと彼方此方歩き廻つてきたものだ。齡九十五になつたが、今でも雨の降らないかぎり歩かない日はない。「五街道を歩く會」も少し前までは常連だった。今だつてまだまだ皆に負けずに歩けるだらうと思つてゐる。歩くことが健康・長壽を保つ最高の祕訣であることを私は誰よりも良く知つてゐる。

(原文を尊重して旧字体、歴史的仮名遣いそのまま掲載します)

❖ 街道を歩く人さまざま

小倉英世 (S 35 法)

街道歩きも 既に 7 年目に入り 回数もこの 6 月で 50 回目ともなると メンバーの方々の歩き方の特性も ほぼ皆様の頭の中で 形作られたのではと 思います。以下にその類型の概略を述べてみます。もちろん ほとんどの皆様は単一型ではなく いくつかの類型の混合ハイブリットではあります。

- ① 目標達成型 (とにかく最終目標地まで ひたすら歩くことが主眼―歩きが速い)
 - ② 物見遊山型 (途中立ち寄る名所・旧跡を 大いに楽しむ―進行は遅めだが気にしない)
 - ③ 事前調査型 (地形・景観・風土・歴史・伝承・人物等 調査万全―事前に既に楽しむ)
 - ④ 酒精追求型 (食事時・休憩時・車中等 機会があれば 必ずアルコール分を希求する)
 - ⑤ 植物探索型 (道中珍しい草花樹等の名前を必ず知りたがる―幸い教えてくれる大先生あり)
 - ⑥ 給食看護型 (休憩時おやつの差し入れ 怪我人看護等 会員ケアを 率先実行―有難い)
- まだまだありそうですが このあたりで終わりにします。

❖ 街道歩きメンバーは家族同然

蜂巢 毅 (S 39 工)

平成 19 年 3 月東海道を歩き始めてから早 6 年、東海道、日光街道、奥州街道を踏破し、中山道に挑戦中の 50 数名はお互い家族同然です。月 1 回再会し歩きながらの会話がなんとも楽しい至福の時間です。綿密に下見し計画してくれる各区分世話人のお陰で、安心して街道歩きを満喫できる本会独特のシステムが、この会を長続きさせています。来年 9 月には草津に到達し、次に最後の甲州街道を歩きます。

6 年前の歩き始めた時から比べ全員年をとるどころか、逆に若々しく元気になってきました。アルツハイマーにならぬようアルクハイマーになり、いつまでも歩き続けようと決意を新たにしています。
